2020年度

事業計画アンケート

ガスエネルギー新聞は、全国198の旧一般ガス事業者と、新規の登録ガス小売事業者で家庭用を手掛ける14事業者の計212事業者を対象に2020年度事業計画アンケートを実施し、159事業者（うち４社が新規小売事業者）から回答を得た。課題と施策、新規事業への取り組みのほか、都市ガス普及計画、導管敷設計画、設備投資計画のデータを掲載する。

デジタル技術で自由化対応

課題と施策

東京ガス　課題認識＝「脱炭素化の潮流」「デジタル化の進展」「顧客の価値観の変化・多様化」「エネルギーの自由化の進展」は、着実に進んでいく。

ＣＯ₂削減に向けた再生可能エネルギーの拡大だけではなく、集中型と分散型の最適な組み合わせや、消費者もエネルギー需給に参加する「プロシューマー」の定着・発展、サプライチェーンに部分的に参画する企業の増加、デジタル技術を駆使したエネルギー事業の発展、それらを包括的に支えるＳ＋３Ｅのエネルギー需給構造、レジリエンス等、あらゆる面からエネルギー自体のあり方に関する議論が活発化していく。首都圏には強力な競合の参入もあり、ガス契約のスイッチ等による収支悪化圧力が高まる中、「次世代のエネルギーシステムをリード」し、「価値を創出し続ける企業」に生まれ変わるために、これまでにない取り組みを進めていくことが重要だと考えている。

施策＝（１）カスタマーソリューションの進化

国内の顧客には、顧客のニーズ・価値観の複雑化・多様化に応えるべく、セカンドブランドも活用した既存エリアにとらわれない営業展開や、ラストワンマイルでのビジネスモデルの確立等により、ガス・電気・サービスの提案を高度化していく。

（２）ＬＮＧビジネスの拡大

天然ガスは安定性・環境性・経済性に加え、再生可能エネルギーとの相性の良さから、ますます重要性が高まる。これまでガス事業の原料として捉えてきたＬＮＧを、これからは商材として捉え直した上で、トレーディング等、ＬＮＧビジネスを拡大していく。

（３）海外事業の加速

海外においては、単一プロジェクトへの投資だけでなく、事業会社への経営参画、当社グループが基盤を作ってきたアジアや北米を中心としたＬＮＧインフラ事業の開発、再エネ電源規模の拡大等を進めていく。

（４）CO_2ネット・ゼロの具体化

CO_2ネット・ゼロに向けて、天然ガスの有効利用と再生可能エネルギー・分散型電源を組み合わせた電力ビジネスの拡大、将来に向けたCO_2ネット・ゼロに資する技術開発を進めていく。

大阪ガス　Ｄａｉｇａｓグループは2020年３月12日に2020年度経営計画を発表し、中期経営計画2020の最終年度として、掲げた目標を達成するとともに、将来に亘って持続的で力強い成長を実現するための取り組みを進めていくことを掲げた。

ガス、電力等のエネルギーとさまざまな付加価値サービスを組み合わせた提案をさらに進化させていくとともに、本格的な利益貢献フェーズに入る海外事業の推進、ライフ＆ビジネスソリューション事業の着実な成長、重点分野への成長投資の推進などに取り組んでいく。また、保安・安定供給の確保に加え、近年の自然災害の多発等をふまえた早期復旧など、一層の事業基盤の強化に努めていく。

一方で、新型コロナウイルス感染拡大以降、原油価格下落や経済活動の停滞等により、当社事業にも広範囲で影響が顕在化している。今後、さらなる感染拡大、外出自粛による景気低迷の長期化等により、当社事業への影響が拡大することが考えられる。現時点で影響を測ることは難しいが、感染防止や感染時の備えを怠らず、エネルギー供給等の事業活動、業績への影響を注視していく。

現時点では３月に公表した2020年度収支計画は修正しないが、今後、業績への影響が顕在化した時点で適宜修正を行っていく予定。

東邦ガス　中期経営計画（19～21年度）の２年目である20年度は、掲げた各施策を着実に展開し、確実に成果を出していく。

＜戦略１：都市ガス事業のさらなる成長＞

①地域のくらしを支える取り組み

顧客のくらしまわりのパートナーとして、快適でエコなくらしの提案や、顧客のライフスタイルにあった幅広いサービスの提供を行う。また、当社グループの強みである「地域に密着した保安・サービス体制」を生かし、トラブル時のサポート等の充実を図る。

②地域のビジネスを支える取り組み

省エネ・省ＣＯ₂・省コストに繋がる、他燃料の転換や高効率ガス設備の導入、多様なエネルギー利用を提案するとともに、当社の技術力や最新技術を活用した高品質なサービス（トータルビジネスサポート）を提供する。

③低廉かつ安定的な原料調達

低廉なＬＮＧの安定調達に向け、新たな地域からの調達や、受入基地も含めた柔軟性の向上に取り組み、調達の多様化を推進する。

④安定供給・保安の確保

ガス事業の基本である安定供給と保安の確保に向けた取り組みを着実に進める。

⑤天然ガスの広域展開

都市ガス導管網の拡充により、供給エリアを拡大し、ガス輸送量を増やす。また、ＬＮＧローリー供給の強化により、天然ガスの広域展開に努める。

＜戦略２：トータルエネルギープロバイダーへの発展＞

①新たなサービスによる付加価値の提供

都市ガスにＬＰＧと電気を加えた３つのエネルギーの最適提案を行い、トータルで約300万件の顧客を、毎年１％程度ずつ増やす。また、顧客との直接接点に加え、デジタルチャネルの充実により、新たなサービスの提供を着実に進める。

②ＬＰＧ事業の拡大

東海３県のコアエリアから活動範囲を広げ、ＬＰＧ事業の拡大を図るとともに、事業基盤の強化に取り組む。

③電気事業の発展

着実な電力需要の拡大と低廉かつ安定的な電源調達を進めるとともに、低炭素化・脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの導入を拡大する。

＜戦略３：新たな領域への挑戦＞

①グループ事業の強化・発展

「総合ユーティリティサービス事業」「リフォーム事業」「製造・供給技術の外販」「保有不動産の活用」の４つの領域を中心に、グループ事業を着実に発展させる。

②新規事業の開発

これまでの事業運営で培った技術・資源・ノウハウを活用し、国内外において、エネルギー関連事業の拡大に積極的に取り組む。

＜グループ経営基盤の強化＞

当社グループの成長を支える人材力の強化・活用、抜本的な効率化、将来の成長に繋げるための技術開発、導管部門の法的分離や環境変化にも柔軟に対応できる組織への変革、ＥＳＧ経営の推進に取り組む。

西部ガス　＜エネルギーシェアの拡大＞

グループ内外のソリューション技術を最大限活用しながら、都市ガスをはじめ、ＬＮＧ、電力、ＬＰＧ、再生可能エネルギーなどグループ全体でエネルギーシェアの拡大を図る。

自由化が進展する中で、顧客の声に徹底的に向き合い潜在的なニーズにお応えしながら、特にガスエネルギー事業においては、業務用・産業用の需要開発と着実な契約更新に注力するとともに、家庭用についてもさらなる顧客づくりを推進する。また、地域特性に応じた事業運営や体制を整備し、サービス品質を高めるとともに一層の事業効率の向上を図る。

＜ガスエネルギー以外の事業の拡大＞

不動産事業については、賃貸事業を強化し、当社事業エリアを中心に国内外の優良な案件への積極的な投資を行う。また、国際エネルギー事業については、ひびきＬＮＧ基地の立地優位性や拡張性を活かし、アジア向けＬＮＧや天然ガスの販売等を拡大する。

＜安定供給体制の強化＞

顧客に安心して天然ガスをご使用いただくため、九州北部幹線の全線運用開始に向けた準備を着実に推進するとともに、ひびきＬＮＧ基地を中核とした強固なガス生産供給基盤を構築する。

近年多発する大規模自然災害や重大事故などの不測の事態に対応するための防災拠点の整備など、エネルギー事業者として引き続き顧客の安全安心の確保に向けた取り組みを強化しつつ、より効率的かつ合理的な運用および体制の整備を図る。

＜事業改革の推進＞

急速に進歩するデジタル技術や蓄積したデータを活用しながら新たな顧客価値を創出するとともに、プロセスの抜本的な見直しとあわせて業務の効率化高度化を図る。

専門的な知識や経験を有する人財の登用や通年採用を積極的に実施するとともに、会社の成長を牽引する柔軟な発想と強い改革意識を有する人財の育成を推進する。

＜グループ総合力の向上＞

全社全部門が徹底したグループ全体最適を追求するとともに、グループの強みと経営資源を最大限に生かした事業展開を通じて、グループ総合力の向上を図る。

グループ経営戦略の策定、推進、ガバナンスなどの仕組みを抜本的に見直し、グループ大で経営資源の最適配置や事業効率の向上を実現するための体制整備を図るとともに、グループ戦略に沿った事業の整理統合を推進する。

京葉ガス　中期経営計画（2019―2021）に掲げる「オール京葉ガス３年後のありたい姿」の実現に向けて、重点課題に基づく施策を中心に各種施策を展開する。

（１）豊かで快適な暮らしに貢献

顧客に魅力的と感じていただけるガス・電気料金プランやサービスの充実と、顧客の生活や事業における快適性・安全性・効率性の向上に寄与する提案を推進する。また、顧客との対面機会はもとより、会員制ウェブサイトやホームページなどの当社と顧客とのウェブ上での接点における利便性の向上等に取り組む。

（２）安心・安全のたゆまぬ追求

「お客さまへの安心・安全の提供」を高いレベルで実現し続けるために、保安に携わる社員への教育・訓練の強化や安定供給と保安の確保に資する積極的な設備投資を継続する。

また、大規模地震発生時の早期復旧に向けた災害対策を推進することで、顧客にガスをお届けする供給基盤の強化に努める。

（３）選択と集中による経営基盤の強化

コミュニケーションツールの導入・活用やフィールド業務におけるモバイル端末の導入などＩＣＴの活用により、事業運営の効率化を推進する。また、既存業務は優先順位付けを行い、廃止・縮小・効率化により業務量を削減させる取り組みを引き続き全社で推進する。

北海道ガス　2016年度からスタートした中期経営計画を「総合エネルギーサービス事業の本格展開に向けた基盤整備」の期間と位置づけ、３つの基幹戦略「①ガス事業基盤の磨き上げ」、「②電力事業の推進」、「③北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開」を推進。最終年度となる2020年度は中計の「総仕上げ」と位置づけ、新型コロナウイルスや原油価格の下落等の影響はあるものの、次のステップである「総合エネルギーサービスの本格展開」に向けた取組みを進める。

１．ガス事業基盤の磨き上げ

顧客件数・販売量の増大に向けて、導管延伸による燃料転換営業を推進するとともに、接点機会でのデータ取得を徹底しデータ活用営業の一層の推進に取組む。

また分散型エネルギーシステムの普及拡大を目指し、家庭用分野ではＢＯＳ機能や「コレモ」の余剰電力買取サービスを訴求していく。業務用分野では、行政への働きかけを行いながら病院・学校・避難所等の重要施設へのＣＧＳ導入提案を実施し、環境にやさしく災害に強いまちづくりに参画する。

２．電力事業の推進

20年度顧客件数20万件達成に向けて、全道全域で顧客基盤を強化する。併せて環境にやさしく安定的な電源整備に向けて、「北ガス石狩発電所」のガスエンジン発電設備の増強および一層の排熱活用を図るべく蒸気発電設備の導入を行う。

３．北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

家庭用分野では、北ガス版ＨＥＭＳ「ＥＭＩＮＥＬ」の新築デファクト化に向けた取組み推進に加え、既築市場への展開に向けて認知度向上のための継続的なプロモーション活動を実施する。業務用分野では、ＩＣＴを活用した「ＣＥＭＳ」による地区一帯の省エネ・低炭素化の推進に取組む。

広島ガス　課題＝広島ガスグループ2030年ビジョンで掲げた（１）総合エネルギー事業のさらなる拡大、（２）環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究、（３）デジタル技術の活用による高付加価値の創造、（４）グループ組織力の強化、（５）安心安全のさらなる追求、（６）社会貢献活動の推進―の６点。

施策＝20年度事業計画で掲げた以下の８点。

基本方針１：総合エネルギー事業のさらなる普及拡大を通じた、省エネ・省CO_2への貢献とエネルギーサービス周辺事業の強化による事業拡大を図る。基本方針２：環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じた、環境負荷低減に資する施策を推進する。基本方針３：デジタル技術の活用による高付加価値の創造を図ることによって、新たな価値創造と業務効率化を推進する。基本方針４：グループ組織力の強化につながる創造性豊かな人材の育成と活用により、グループ総合力の向上を図る。基本方針５：安心安全のさらなる追求により、エネルギーセキュリティーの向上を図る。基本方針６：社会貢献活動の推進を通じ、地域社会と共に発展する企業グループをめざす。基本方針７：グループ経営基盤の強化を図り、強靭な企業グループの構築と持続的な発展をめざす。基本方針８：地域社会からの信頼につながる経営を推進する。

仙台市　顧客の安全と安心を念頭に、より一層の快適な暮らしと満足をお届けするため、これからも都市ガスの安定供給に努めていく。

営業面においては、中期経営方針の重要施策である顧客の獲得および販売量拡大のため、家庭用にあっては、経年機器買替え時期を迎える顧客へ向けた返回営業等を通じ、他燃料への切替阻止と都市ガス化が見込める機器をお持ちの場合の切替提案を同時に推進していくとともに、地場リフォーム会社・大手ハウスメーカーとの連携による都市ガス導入を目指していく。業務用にあっては、空調機器の更新提案や他燃料機器をお使いの顧客への燃料転換の促進と、それに伴うパーメーターアップを図っていく。

保安面においては、重大事故ゼロの継続を大前提に、大地震によるガス漏えいに伴う二次災害防止や台風・豪雨による供給支障発生時における早期復旧など緊急保安対応力の向上に努めていくとともに、経年管入れ替えを着実に実施することで、さらなる安定供給につなげていくほか、顧客との各種接点機会における効果的な情報発信および情報収集を実施することにより、安全型ガス機器の普及拡大や保安確保に向けた周知活動を適切に進めていく。

営業面・保安面、双方において継続した人材育成が必要であるため、幅広い知識・技術の習得および継承に努めていくとともに、事業運営に必要となる資格取得に向け、各種支援を実施していくほか、顧客対応力や機器更新における提案力を強化し、さらなる顧客満足度の向上を目指していく。

北陸ガス　さらなる顧客サービスの向上と天然ガスの普及拡大に努め、ガス事業の原点である安定供給と保安の確保を確実に実施していくとともに、エネルギーの多様化、低炭素社会の実現に貢献していく。

営業関連＝環境特性に優れたエネファームおよびガス温水暖房システムのＰＲ、普及を推進し、家庭用需要の中心である給湯・暖房需要の確保と増大を図っていく。また、新たにガス衣類乾燥機を設置された家庭用の顧客を対象に割引料金プランを新設し、ガス衣類乾燥機の拡販に努める。あわせて、リフォーム事業にも注力することで、最新ガス機器の利便性を訴求するとともに、既存顧客の離脱防止と顧客サービス向上に繋げていく。

供給生産関連＝ガス事業の根幹を成す保安の確保のため、経年管の取り換え促進を計画的に進めるとともに、地震対策としてガバナー監視遮断システムの機能整備に取り組む。

システム関連＝ガス自由化に伴う制度改革対応および営業力強化のため、必要なシステムの改修・開発を着実に進めていく。また業務効率化の観点から、ＲＰＡの活用範囲を拡大していく。

静岡ガス　くらし事業で、グループ顧客基盤の拡大を進めるとともに、４社に集約した顧客サービス拠点「エネリア」を中心に顧客のくらしに寄り添ったサービスを提案・提供していく。他社とのアライアンスやデジタル技術の活用などにより顧客の幅広いニーズに応えるとともに、これまで以上に地域の皆さまの豊かで快適なくらしを支えていく。

マルチエネルギー事業では、ガス・電気・熱を組み合わせた提案により、顧客に最適なソリューションを提供していく。コージェネレーションなどのエネルギーの高度利用を推進し、顧客の省エネ・省CO_2に貢献していく。加えて、これまで培った燃焼技術、メンテナンス技術などにデジタル技術を掛け合わせ、新たなサービスを展開していく。

導管ネットワーク事業では、経年化の進んだガス管の入れ替え、供給設備の老朽化対策、耐震化ブロックの構築を引き続き計画的に進めることで、保安と安定供給を確保していく。また、ガスおよび給排水工事に加えて電気設備工事への取り組みを進めることで、家庭内の主要な設備工事をワンストップで提供する体制を構築していく。

基地事業では、天然ガスの安定供給と袖師基地の安全操業を第一に取り組む。製造設備の保安対策を推進するとともに、基地の耐震強化工事を実施し、ガス管の耐震化対策とあわせて、巨大地震に対するレジリエンスを向上していく。また、ＩＳＯコンテナによるＬＮＧの海外出荷の拡大を図るとともに、中小型船向けＬＮＧの再出荷や船舶へのＬＮＧ燃料の供給など、基地を活用した新事業を推進していく。

電力事業では、地域のエネルギー資源と自社電源である富士発電所を活用した地産地消型の電力供給システムにより、地域における効率的なエネルギー利用と電力の安定供給に引き続き貢献していく。また、脱炭素型の電源として、太陽光発電やバイオマスなどの再生可能エネルギー電源の開発を進める。2019年11月より提供を開始した太陽光発電支援サービスの普及拡大に取り組むとともに、顧客の所有する施設に当社グループが太陽光発電設備を設置して電力を供給する新たなサービスを展開していく。

原料調達では、ＬＮＧ調達価格の低減に引き続き取り組んでいく。シンガポールを拠点としたネットワークを活用してＬＮＧ取引の多様化と柔軟化に取り組み、流動化が進むグローバルなＬＮＧ市場に対応していく。

海外事業では、インドネシアをはじめとするアジア諸国において、地元企業と協力しながら、国内で培った技術力やノウハウを活用した事業展開を、リスクを見極めながら着実に進めていく。

四国ガス　2019年度よりスタートした「四国ガスグループ中期経営計画2021」に掲げた３つの「重点戦略」である「ガス体エネルギーの普及拡大」「安定供給と保安の高度化」「新たな事業領域へのチャレンジ」と、それらを実現させていくためにグループの総合力向上を目指した「グループ経営基盤の強 ↗

その問題、解決策あります。

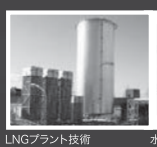
Daigas G&P Solution

Daigas Group

半世紀の実績で培ったオペレーション＆メンテナンス＆エンジニアリング技術を活かして、お客様の課題解決をサポートします。

Daigasの総合力で、ワンストップのソリューションを。

豊富な経験で培った技術力を提供
エンジニアリング事業
LNGプラント設備やガス供給設備に加えて、水素製造設備を含む環境技術を国内はもとより海外にも提供しております。


LNGプラント技術

水素製造装置HYSERVE

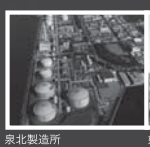
安価でクリーンな電力を安定供給
発電事業
火力発電所や風力・太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギー発電所の運転・維持管理を担い、高い信頼性と高効率化を両立した運用を実現しております。

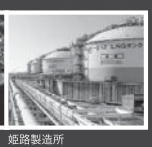
火力発電所

風力発電所

太陽光発電所

安全かつ効率的な運用ソリューションの提供
ガス製造事業
LNG(液化天然ガス)を都市ガスに加工する大阪ガス所有の製造所を運転・維持管理を担った経験から、高い信頼性と高効率化を実現するソリューションを提供しております。


泉北製造所


姫路製造所

Daigasガスアンドパワーソリューション株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目5-11　TEL:06-6205-2961 FAX:06-6226-9805　https://www.osakagas.co.jp/company/group/daigasgpsolution/index.html

大阪ガスエンジニアリング株式会社と株式会社ガスアンドパワーは、新たにDaigasガスアンドパワーソリューション株式会社として生まれ変わりました。